



毎月一回(雑誌)十五日発行
定価(雑誌)一部二十錢郵税共
雑誌(特別)一頁金廿圓
廣告料(普通)一頁金廿圓
印刷費 吉田 五平
印刷所 磐城公友社
發行所 磐城公友社

平市實現の機迫る!!

一日も速く社會文化に浴し

市民の權益を確保せよ

平町の市制促進運動は其後、平井戸を堀るに等しく、即ち論議する前に先づ市制とは引續き町當局は勿論町會議に於ては内溢れ出でんとする水何かにいふことを研究する員其他有識者間に熱心に行なはれて居るが、彼の平窪村の鑿して滾々と溢る清水に(イ)市は地方自治体として合併問題等の如きも刻々と太陽の目を當てるのは誠に法律上の地位は原則として有利に展開されてゐる自然の要求に合致するものとして町村と同一であるが、未だ完全なる提携を見るで、之を市制問題に當て、只市會議長制度、市參事會に至らず、甚しきは平町民の此の開鑿の仕事を市參事會又は獨立して縣會議中にも同問題に對し疑惑の念を抱き其實現の遲速を論する者もあるやうであるが、之を市制なるものに對し充分なる理解と認識とを欠除せる結果と見るべきであるので本紙は特に茲に之等全貌を分解敷衍し關係民各位の參考に資することゝする。

市制實現の要素
市制施行に就て最も有力な重點をなすものは先づ內在的理由の完熟であると同時に内に市制を要求する強い力の湧起するものがなく、てはならぬ、之なくして市制を布くは水脈の有無に拘

市制とは何か
市制を施行することが良い項ばかりでなく町村よりも幾十倍の大なる集團生活を見る

市制の施行は地方自治團體に適應する目標を與へて各方面に其充實發展を促進する事となるのは勿論であるが、最も活潑なる影響を與ふるは産業上の方面である、即ち市制は土地の上に冠せられたる一のレツテルであるから商業工業者にとつて町であることと市であることは外部の商取引に於て格段の相違のある事は看過する事が出来ない、一例として電話線の地下埋設其他の上ぐるならば埼玉縣川越市は、筆筒の名産地であるが市制施行後之等の註文が激増して來た、又静岡清水市は、其の産地であるが市制施行後急激に増産の傾向を示してゐる、更に市制では市制施行後たる昭和八年には銚子驛の乗降人員は施行以前に比し十三萬六千七百人の増加を示して居る、市制の實力は人口三萬以上の大集團生活に必要な公共事業を經營するに堪へる財政及一般行政上の執行力を目標とする。

包するの關係上公共的の仕事の範圍は自然の必要から複雑化し且つ擴大され遂には個人消費生活と共同化の趨勢に應じて各種の公營事業を經營し住民の福祉増進に貢獻すべき使命を有することとなる。

市制施行と産業

市制の施行は地方自治團體に適應する目標を與へて各方面に其充實發展を促進する事となるのは勿論であるが、最も活潑なる影響を與ふるは産業上の方面である、即ち市制は土地の上に冠せられたる一のレツテルであるから商業工業者にとつて町であることと市であることは外部の商取引に於て格段の相違のある事は看過する事が出来ない、一例として電話線の地下埋設其他の上ぐるならば埼玉縣川越市は、筆筒の名産地であるが市制施行後之等の註文が激増して來た、又静岡清水市は、其の産地であるが市制施行後急激に増産の傾向を示してゐる、更に市制では市制施行後たる昭和八年には銚子驛の乗降人員は施行以前に比し十三萬六千七百人の増加を示して居る、市制の實力は人口三萬以上の大集團生活に必要な公共事業を經營するに堪へる財政及一般行政上の執行力を目標とする。

市制の特典と影響
市制の特典は町村と異なり特種の特典と恩恵とを受ける事がある、左記に數種の例を示す事とする。

市制の特典と影響
市制の特典は町村と異なり特種の特典と恩恵とを受ける事がある、左記に數種の例を示す事とする。

市制の特典と影響
市制の特典は町村と異なり特種の特典と恩恵とを受ける事がある、左記に數種の例を示す事とする。

工會議所を設け産業の指導の事業を行ふに當り久業として形要素を備へて導開發若くは商業工業等の誘致分配を決議し權威ある産業統制機關となす事が出来る。

金融機關の充實は産業及ばす影響甚大なるは言を俟たざることで、若し平が市になれば興業銀行の出張所を誘致し其規定た最低金額二百圓迄無擔保貸付の便利を受ける事が出来る。

交通量の増進は第六號國道即ち濱街道が縣下第一である故に原則的に論ずれば先づ本縣の内では勿來久の濱間の國道改良工事を進めざるが當然である、市としての特典が多數あるが省察する事とする。

市制と財政
以上の如く市制施行に依り種々なる利益を受けることが出来るが然らば市制を布ける財政的のドンナ影響を受けるか、關係住民各位が心配するのは蓋し此點にあるらしい、併し之は餘り心配の要は無いと思ふ何となれば吾平町の如く殆んど市

合併反對大失敗
悔へて合併を申込む
秋田縣寺内町の珍景

秋田縣寺内町の珍景
秋田縣に隣接する處に寺内町である、處が會て秋田市で濟の事業が認可される町といふ戸數五六百の大部は此の町へ向つて合併しないのであるが市となれば全國石油産額の四分の三内町は寺内町民に依つて永ば例へば道路下水道工事を占めて居るといふ事業地久に生くるを理想とする

大平町の重要工業
平鐵工機械工業組合

飛躍！前途の光明

公認堂々の威容

別項記載の如く平町は今や業組合の設定認可を得將來同附屬品の鑄造のみを業と大平市を目して躍進途上にの飛躍に備ふべく之が實現する者を含む

邁進してゐるが殊に當地方に猛進し本年四月十五日商
の將來性に鑑み其理想とし工大臣に設立許可申請をな
て一大工業都市の實現に一し爾來猛運動を續けて居た
歩を進めつゝある而して當が愈々去る八月十一日附を
以て組織し現在三十四名

町に於ける各種工業の内現以て認可の指令に接し茲に在に於て將た又將來に於て斯業界多年の宿望は報へら最も重要性を有し而かも近れ其前途に一大光明は放た年著しき發展向上を見つゝれて正に當町産業の中樞機關として堂々君臨する事である、由來當地方の斯のゝなつたのである。

一、組合の目的
及組織

前記鐵工機械工業の改良發達を圖る爲め共同の施設を爲す從つて本組合の組織を

種工業は炭礦事業の盛衰に而して同組合の組織内容並に保証責任とし其保証金額は組合の出資一口金廿圓宛を以てし現在の出資額は二百萬圓に置かれてあるが最する事とする

近に於て一般軍需インフレの餘波を受け各工場共異常の躍進發展を示してゐる、然し此の状態を以て決して

一、組合の名稱
平鐵工機械工業
組合

四十五口此金額四千九百圓である

一、組合の事業

(一面より)
いふ信念の下に町内舉つて反對し遂に今日迄獨立を保つてゐた、然るに近年町同は著しく疲弊困憊の域に達した、同町内の石油事業は日本石油會社と日本興業會社の經營で單に事業地として土地を提供して置くに過前秋田市へ編入を申込みのてず營業一切は本社の手でも面目ないが背に腹は變へるなはれて居るので地方に受くる影響は至つて僅少である爲めに年々衰微し行くばかりで財政其他にも頗る困難を來し先に反對した手かと考へてゐるとの由

(イ) 原料及材料の共同購入

(附一) 附二

資金貸付及資金の受入

共同施設

イ) 共同運搬

共同保管

製品の検

五、其他の施設

而して營業に關する指導研

及調査の方法として左の

組合員の營業に關する

指導方法

イ) 學識經驗ある者を招聘

し講習又は實地指導行ふ

口参考品の蒐集

組合員の營業に關する

研究方注施

(イ組合員の

に於ける優良品との比較

軍事工業の誘致
實確

るに本係に於ては福島及

各種の工業をして
の組合が漸く認可され

東者に下請負をなさるのみで其他の樞要都市

能力の圓滿を期すは目下夫れく之が準備

一面事業資金の分である、既に公認となつ

つゝあるが殊に軍平工業組合では過般來河

一般民間の工場に殆んど寝食を忘れ而かも

を命じてゐる、併し大の犠牲を抛つて各地の

種々なる條件が伴つ場其他を視察見學し或は

易に之等事業を誘省並に縣當局に屢々陳情
とは困難であるの願して工事の誘致に狂奔
共競つて組合組織の結果愈々軍需品製作の
諸種の條件を具備定組合として近く之が實
權威ある公認組合を見る模様である。

10

100

100

活動に依つてのみ其實現を
大期し得べきものに非ずして
縣當局若しくは之等工場地
帯の當局も大なる關心を以
て之を指導若しくは助成すべ
きであるので吾福島縣に於
ても近來漸く他府縣の狀勢
殊に平工業組合員の懸命な
努力等に刺激され近來漸
く本格的に乗り出し之等事
業の指導獎勵及検査等の機
關を設置し軍部其他よりの
下請負を爲さんとする組合
員に其受託の斡旋交渉は勿論
助之が獎勵殊に製作技術の指
導、製品検査等に關し特に
技術官及検査機を設備し其
任に當ることに着々準備中
である、而して之に依ると
福島及平の兩所に検査機を
設備し技術員を各一名宛派
遣し製作品の硬度、性能、
精密度、等の試験をなし更
に技術的指導研究のため講
習會を開く等万般に留意し
以て斯道の向上發展に資す
ることになつたが此經費大
略本年中に七千八百圓を要
する豫定であるが之が支出
豫算として

四千五百圓	商工省補助
一千圓	平組合寄附
一千圓	福島組合寄附
一千三百圓	縣費支出

が計上され従つて平組合で
は之が支途に目下種々焦慮
中の模様である。

以上の陣容に依り平工業組
合では茲に國家非常時に處
する平素の試練と更に技術
の向上進展を期し以て産業

(以下三頁(續))

組合設立認可と

組合事務所新築祝賀會

別項の如く平鐵工機械工業被露祝賀會を舉行すること組合は本年八月十一日付商工大臣より設立認可され更に過般來田町通りに新築中工課屬、其他有志者多數をであつた同組合事務所が竣工したので、明十四日之がある。

平山の成功家

三井榮一氏の躍進

平町三丁目元三井呉服店主より多大の期待を以て迎へ三井榮一氏は先に現店主柏られてゐる。

斷然斯界を抜く

平の鐵工業
縣下同業界の首位

今日に至つたのであるが、其確固たる信念と努力とは報へられ遂に目的は達し、過般來數百萬圓の巨利を獲得し今や其堂々たる威容は斯界を風靡するに至つた、而して國民は今後の居を平

著しく發展向上し而かも躍進途上にあるは別項記載の如くであるが今昨年度に於ける福島縣下樞要地の各事業狀態に付商工課の調査によれば左の如き數字が表れてゐる

町に定むべく過般平町宇大町地内に町有地千二百坪の敷地を買収し近く土盛工事を施し堂々たる建築をなす由であるが國民從來の行動に鑑み今後の活躍は頗る注目に値するものとして一般	工場 職工數 生産額
平島	四七、八七、〇〇圓
福山	二九、五七、五〇
郡山	一三、三六、九〇
若松	一五、一五、六三
原町	三、四三、四三

工業相談所開設

秋田縣の斯業躍進

秋田縣下の中小工業では鐵工業を中心として軍部から部分品の注文を受け大量生産に精進し異常の好景氣を

女さきと云ふ十緒を數ふに萬國で本月中に事務開始の至りたるを以て縣當局では運びとなる由である、而し之が指導のため工業相談所で之に要する人件費は本年度分だけでも九千八百圓を本館、試験室等を建築する要する由。

平町の晩秋を彩る

福陽美術會展覽會

帝展の美術其の儘展開

會展覽會次第

以來各所に於て美術展覽會を開催し其藝術の妙技を紹介して居つたが當地方に於ても是非本縣出身畫伯に成る同展覽會の開催を要望すること久しきに涉つてゐる、愈々來る廿一日より三日間平第三小學校講堂に	於て第五回展覽會を開催 大正十二年七月若松市に於て第六回展覽會開催 大正十三年十二月郡山市に於て第七回展覽會を開催 昭和五年四月福島市に於て第八回展覽會を開催 昭和十一年十一月平町に於	一、出品資格 福島縣出身者の日本畫に限る 一、審査 前記幹部が審査員となり審査をなし入選優等には町長賞を授與す 一、參考品陳列 當日福陽會幹部其他の參考品を陳列す
---	---	--

福陽美術會の経

過並に會員 現在の幹部は左の諸氏である
三日間

にして福島縣出身の在京

本畫家を以て組織せらる
大正九年五月、東京日本橋
區白木屋に於て第一回展覽
會を開催す

幹事長 太田秋民
幹事 角田馨谷
渡邊農畝

一、主催 平町美術同好會
福陽美術會

廿二日、廿三日一般公開
入場無料

展覽會の趣旨

福陽美術會は本縣出身在京の日本画家を以て組織

され四十有餘名の會員を有し中央の畫壇に於ても有力なる團體であります會員の内には帝展審査員及推薦又は日本美術院の同人等の御方もありまして、本年の如きは新文展に九名も入選いたし、更に招待展には四名の御方が居ります、實に郷土藝術家の一團として斷然頭角を現はして居ります。

然るに之等諸画伯の作品を郷土の人々に紹介する機会が今迄無かつたことは常に遺憾とする處でありましたが圖らずも今回此の展覽會を平町に於て初めて開催することになりましたことは主顧者として

して衷心から嬉ばしく思ひます、而かも本展覧會の目的は此の名譽ある本縣出身の諸畫伯を紹介すると共に日本精神の鼓吹に貢献し更に青年作家を奨勵し進んで美術思想の普及開發に努力する趣旨

に外ならぬ次第であります。幸に此の好機會を逸せず郷里同好の諸賢多數の御鑑賞を請ひ併せて我郷土の美術界に一大光榮を授じたいと思ひます

平町協賛會
會長 青沼 隆太郎

吉村安次郎	猪狩寅之輔	吉田觀徳	鈴木五吉	鈴木光吉	柴田鶴	正木貞二	小檜山久作	副會長	顧問	外會員	發 起 人
-------	-------	------	------	------	-----	------	-------	-----	----	-----	-------------

花柳病科
內臟外科
一般外科
內科小兒科

市原醫院

平町田町
電話二一四番

婦人科 產科 平町田町(電五五九)
院長 井坂 井坂 警久 院
吉

萩原齒科醫院
平町鍛冶町
電話二五九番

耳鼻喉科
○入院應需
大和町
和田郡
司
大和町
電話一七〇番
番

吉田眼科醫院
平町紺屋町
電話六八番
醫學士 吉田久雄
入院隨意

平町田町
中野
院長
齒科
口
日本齒科大學士
日本齒科大學士
西川
誠
電話五〇九番

內科 胃腸病科
性病科 花柳病科
皮膚科
泌尿器病科

專門

平町 南町

松村 醫院

電話一〇七番

外内
 ◎ 科 科
 入院隨需
 酒 井
 井
 國 醫
 三
 郎 院
 平町南町
 電話五五番

平町六丁目(橋隣)
 電話三〇九番
 外科一般
 柳病科
 入院隨需
木村外科醫院
 木村
 淳

平町新川町（諸橋醫院跡）電話四六四番
外科 全般
レントゲン科
北川 外 科
醫學博士 北川 芳夫
イツデモ入院出来るマス

平鐵工機械工業組合認可 組合事務所新築落成

セメント、鑛山用 各種機械 製作販賣 河田鐵工場 河田梅吉 電話二九三九番 電話二九五番	平町白銀町 合資會社 田邊商店製作所 田邊忠造 電話二九四番	平町才樋小路 諸機械製作 各種鑄物類 武藏鐵工所 遠山稻吉 電話五一四番	平町堂ノ前 合資會社 吉伴製作所 吉田伴吉 電話二二五番	平町堂ノ前 諸機械合資會社 平製作所 西山惠一 電話四一四番	平町堂ノ前 合資會社 平電氣鑄鋼所 山田文一 電話二六番
平町大工町 諸機械 製罐各種 製作請負 鈴木鐵工所 鈴木甚藏	平町長橋町 鑛山工業用 諸機械修理 製作販賣 吉健鐵工所 吉野健助 電話七〇一番	平町七丁目 船舶鑛山用 鑄物類各種 製作販賣 山田鐵工所 山田親敬 電話七二番	工場新設 今回製作工場を新設し一般の需要に可應候に付一層の御愛顧を乞ふ 平町堂ノ前 石川義助商店 製作部 電話一七八番	平町五丁目 鑛山工業用 諸機械製作 吉田鐵工所 吉田啓助 電話四七二番	平町月見町 鑛山、船舶用 諸機械、鑄物 製作販賣 佐藤鐵工所 佐藤源吉 電話三六二番

各専門醫當

磐城共濟病院

院長醫學博士 長谷部喜久 電話一四六番

つねに御愛用の
御銘茶 登録商標 金瓦園本舗
和洋紙
學校用品 石鹼
疊表、砂糖
干物、雜貨
命大一屋商店
電話一三三番 平町二丁目十三番地
振替東京一九〇三番

庶民金融
親切本位
多田井質店
平町大工町
電話五九一

内外有名藥品
寫真機並ニ材料
度量衡 計量器
各種花卉類種子
西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番



釜屋商店

磐城セメント特約代理店
良品廉賣に勝る商略なし
電話 磐城九平町五丁目
東京振替貯金口座一〇九九五六